

農家の所得向上を目指す

県内J Aが取り組み発表会

農家の所得を増やすために県内の農業協同組合(J A)がそれぞれ取り組んでいる事例を発表する「実践研究会」が17日、岐阜市長良福光、長良川国際会議場

2014年に閣議決定した規制改革実施計画では、J Aは農業の担い手の所得向上などに向け「重大な危機感を持って」自己改革を進めるとしている。研究会は同計画などに基

上げの複数年契約について説明。あらかじめ取引数量や価格を決めてコメ農家と契約を結び、農家の経営安定に寄与する事業の仕組みや見通しなどを紹介した。担当者は「農家との対話を通じて課題を見つけ、解決策を提案することが大切」などと述べた。

(舌間隆博)



県内のJ Aが農家の所得増大に向けて開いた研究会＝岐阜市長良福光、長良川国際会議場

ついたもので、J A間で事例を共有することで改革の成果を上げようと、J A岐阜中央会とJ A全農岐阜が主催した。発表した7J Aのうち、6J Aがコメ関連の取り組みを紹介した。J Aぎふは、県内のJ Aで初めて推進している、主食用米買い